

Hanawa Hokiichi Memorial Museum 塙保己一記念館

はなわ ほ き いち 塙保己一記念館 Hanawa Hokiichi Memorial Museum

〒367-0298 埼玉県本庄市児玉町
八幡山368番地 アスピアこだま内
TEL 0495-72-6032
<http://www.city.honjo.lg.jp/>

入館料
無料

[開館時間] 午前9:00～午後4:30
[休館日] 毎週月曜日(休日の場合はその翌日)
年末年始



《交通アクセス》

- ◎関越自動車道本庄児玉インターより 車で15分
- ◎JR八高線 児玉駅より 徒歩で10分
- ◎JR高崎線 本庄駅より児玉駅入口まで バスで20分
- ◎上越新幹線 本庄早稲田駅より タクシーで15分

盲目のハンディを抱えながら、
666冊の「群書類従」を編さん・刊行し、
和学講談所を設立・運営した大学者。

はなわ ほ き いち 塙保己一

盲目の国学者、塙保己一は本庄市が世界に
誇る偉人です。

延享3年(1746)に武蔵国児玉郡保木野村
(現在の本庄市児玉町保木野)に生まれ、7歳
で失明しました。15歳のときに大志を抱いて江戸
に出て、盲人一座の雨富検校けんぎょうの弟子となりました。

修行を積むかたわら、萩原宗固や賀茂真淵
等に学び、国学の道へ進みました。

34歳のとき“世のため、後のため”に『群書類従』
の編さんを決意。以後、40数年の年月をかけて、
失われつつある各種文献を収集してまとめた
『群書類従』正編666冊を完成させました。

また48歳のときには「和学講談所」を設立、
多くの門弟を育成し、国学の発展に大きな業績
を残しました。

文政4年(1821)2月に盲人一座の最高位
の総検校そうけんぎょうに就任し、この年の9月12日に江戸で
死去しました。76歳でした。

記念館では塙保己一の遺品及び関係資料
(埼玉県指定文化財)を収蔵展示し、保己一
の残した偉業いぎようについて紹介しています。

塙保己一は幼い頃から、
野に咲くスマイレなどの
草花を好んでいたといひます。
盲目になった後も
ホオズキやユズの色を
鮮明に記憶していて、
手で形を触ったり
匂いを嗅いだりして
見分けることができました。



スタンプ欄



国指定史跡

塙保己一旧宅と周辺の文化財

塙保己一旧宅(国指定史跡)



保己一が生まれた家。茅葺(かやぶき)入母屋造(いりもやづくり)民家。

塙保己一の墓と百年祭記念碑(塙保己一公園内)



墓には「和学院殿心眼智光大居士」と和歌一首が刻まれています。また、記念碑は大正10年の百年祭を記念して建てられ、題額は渋沢栄一(しぶさわえいいち)の書。

龍清寺の飛龍のカヤ



保己一幼少期に、よく遊んだという龍清寺。カヤの木は市指定天然記念物。

塙保己一記念館の見どころ

(塙保己一遺品及び関係資料は埼玉県指定文化財)



666冊に及ぶ群書類従



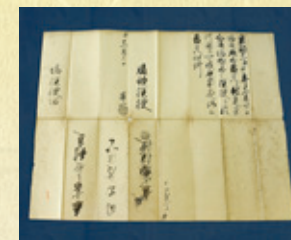
母が縫って持たせてくれた巾着



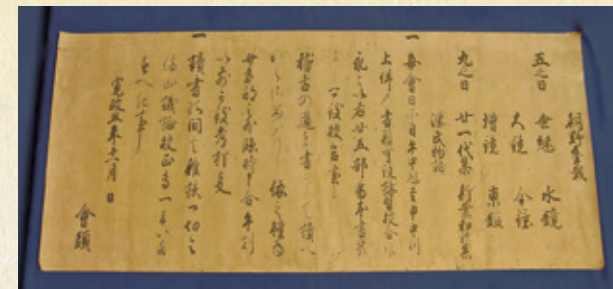
天満宮(和学講談所内)の軒丸瓦



江戸に出るとき背負ったお宝箱



惣晴(そうせい)の検校になったときの告文



和学講談所規律書